

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013001	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M1) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部 (2M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	最終的な目標は、1) リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2) 口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3) 長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
授業方法 (学習指導法) /Method	オーセンティックな教材をベースに、センテンスディクテーションや音楽を利用した発音練習などのタスクを組み合わせ、授業が行われる。受講者が自己のリスニング力とリーディング力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための学習方法を学べるようになってきている。なお、学習状況等 (基礎学力、理解度、進度) を勘案して、シラバスの内容を変更したり、また、メニューを追加することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 40%・課題25%・期末試験35%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題25%・期末試験35%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点 (正当な理由がある場合は考慮する) となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いですが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート		
2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音		
3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別		
4回	多聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音		
5回	多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別		
6回	3STEP小テスト (第1回) 第1回~第5回の授業の振り返り (フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換		
7回	多聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1		

8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	3STEP小テスト(第2回) 多聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	多聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回～第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013002	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M2) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2M2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Medical English Clinic (センゲージ・ラーニング)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(40%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いたe-Learning学習は、2回のテストでもって学習を評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは、原則、医学英語表現を対象として毎回行う。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ /Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月4日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	10月11日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1), 医者と患者の会話(1)		
第3回	10月18日 第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)		
第4回	10月25日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 医者と患者の会話(3)		
第5回	11月1日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医者と患者の会話(4)		
第6回	11月8日 (3STEP小テスト) 第6回 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5)		
第7回	11月15日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1),		
第8回	11月29日 (Power Words 1回目調査) 第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5), 速読(2)		
第9回	12月6日 第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)		

第10回	12月13日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
第11回	12月20日 (3STEP小テスト) 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
第12回	12月27日第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク (3)
第13回	1月10日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
第14回	1月17日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
第15回	1月24日 (Power Words 2回目調査) まとめ
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013003	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M3) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。		
授業到達目標 / Goal	テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式		
授業内容 / Class outline / Con	科学雑誌 Science のオンライン版 Science Now の記事を材料にした各ユニット500語程度から成る Science Fair をテキストに用い、世界中の興味深い話題について、毎回1ユニットのペースで読む。15回の授業の初めの4回は精読を中心に、その次の2回は文章全体の構造に注目して速読の準備をし、その後の4回は速読を中心に、最後の5回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせさせて使えるように演習を行う。 授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回指定する。その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。		
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Science Fair, Yoshinobu Nozaki, Kazuko Matsumoto & Kevin Cleary, NAN'UN-DO, 1900円+税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	課外学習のe-learning 40% (3 Step-CALL 30%、Power Words 10%)、定期試験45%、小テスト約10%、授業での提出物、積極的な参加等約5%。 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシス広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<p>毎回小テストをします。これは、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>イントロダクション、 Unit 1 Why Diets Fail</p>
第2回	Unit 2 Dance Moves Are Irresistible
第3回	Unit 3 The Origins of Tidiness
第4回	Unit 4 Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material
第5回	Unit 5 Say Goodbye to Sunspots?
第6回	<p>3step小テスト(15分程度) Unit 6 Folklore Confirmed: The Moon's Phase Affects Rainfall</p>
第7回	Unit 7 Safe Passage for Salmon?
第8回	Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research
第9回	Unit 9 Alien Gases in Our Atmosphere
第10回	Unit 10 'Altitude Doping' Has Its Limits
第11回	<p>3step小テスト(15分程度) Unit 11 When Pigeons Flock, Who's in Command?</p>
第12回	Unit 12 Japanese Guts Are Made for Sushi
第13回	Unit 13 Cats' Tongues Employ Tricky Physics
第14回	Unit 14 India's Groundwater Disappearing at Alarming Rate
第15回	Unit 15 A greener Way to make Plastic
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013004	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M4) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2M4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水4 木2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。Business English から、医学関係の話題を用いて、リスニング、スピーキングの練習をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびWords and Phrases で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル6の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。Business English を用いたリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法で英語を聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。テキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。リスニングについては、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してください。その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。担当者から指示された家庭学習や予習復習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキミング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : The Picture of Health (南雲堂) 1,700円 教材 : プリント教材 必要に応じて配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験50%、e-learning 40%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. Business English Flu (1) e-learning Power Words Level 6 Unit.1-5 3 Step People at Work
第2回	教科書 Unit 2. Business English Flu (2) e-learning Power Words Level 6 Unit.6-10 3 Step People at Work
第3回	教科書 Unit 3. Business English Flu (3) ¥ e-learning Power Words Level 6 テスト 3 Step People at Work
第4回	教科書 Unit 4. Business English Flu (4) e-learning Power Words Level 6 Unit.11-15 3 Step People at Work
第5回	教科書 Unit 5. Business English Flu (5)復習 e-learning Power Words Level 6 Unit.16-20 3 Step People at Work テスト
第6回	教科書 Unit 6. Business English Obesity (1) e-learning Power Words Level 6 小テスト 3 Step People at Work 3 Step
第7回	教科書 Unit 7. Business English Obesity (2) e-learning Power Words Level 6 Unit.21-25 3 Step People at Work
第8回	教科書 Unit 8. Business English Obesity (3) e-learning Power Words Level 6 Unit.26-30 3 Step People at Work
第9回	教科書 Unit 9. Business English Obesity (4) e-learning Power Words Level 6 小テスト 3 Step People at Work
第10回	教科書 Unit 10. Business English Obesity (5) 復習 e-learning Power Words Level 6 Unit.31-35 3 Step People at Work
第11回	教科書 Unit 12 3 Step People at Work テスト Business English Good Posture (1) e-learning Power Words Level 6 Unit.36-40
第12回	教科書 Unit 11. Business English Good Posture (2) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step People at Work e-learning Power Words Level 6 小テスト
第13回	教科書 Unit 12. Business English Good Posture (3) e-learning Power Words Level Unit.41-45
第14回	教科書 Unit 13. Business English Good Posture (4) e-learning Power Words Level 3 Unit.46-50
第15回	教科書 Unit 14. Business English Good Posture (5) 復習 e-learning Power Words Level 3 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013005	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M5) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M(英5)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	非常勤講師室在中可 詳細は授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標 / Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようにします。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法 (学習指導法) / Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容 / Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。Listeningにおいては、大学が提供している3stepやPowerWordsを日常の取り組みとします。		
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社各自持っている参考書、辞書 (英和、和英)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) 課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL 30%、PowerWords10%) Final Examination 45%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	課外学習のe-learningに関しては第一回目の講義の際に説明いたします。初回の講義はシラバス、教科書等非常に重要な情報を提供いたします。特に再履修の受講生は、必ず受講するようにしてください。できない場合は正当な理由を証明できるようお願いしておきます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction		
第2回	Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)		
第3回	Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)		
第4回	Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)		

第5回	Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2) 11月7日 3step小テスト1回目
第6回	Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)
第7回	Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) ~ 11月25日(金) PowerWords 1回目締切り
第8回	Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回	Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回	Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1) 12月19日 3step小テスト2回目
第12回	Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
第13回	Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan ~ 1月20日(金) PowerWords2回目締切り・3step学習時間締切り
第14回	Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856
第15回	Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Growth 1861- 1865
第16回	Final Examination

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013006	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M6) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部保健学科 (M6)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標 / Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。CALL教室のいろいろな機能やインターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容 / Class outline / Con	テキストとワークブック、副読本を使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。		
キーワード / Key word	リピーティング、シャドウイング、音読、多読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English for Tourism Basic, 三修社、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection、副読本		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System 30%、Power Words 10%)、授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning		
2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning、3step小テスト(1)		
6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning		
7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning		
8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning		
9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
11回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning、3step小テスト(2)		

12回	教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning
13回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning
14回	教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning
15回	教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013007	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英1)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2K(英1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールまたはLACSにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> (1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。 (2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。 (3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。 (4) その会話の和訳を英訳できる。 (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。 (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容のある程度理解することができる。 (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近い発音で音読できる。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦しいイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) LACSによる小テスト (2) テキストを使用した演習 (あるいは Readers' theater 活動 録音 評価、あるいは、配布物による学習) (3) 3分間 (フリーorトピック) トーク 録音 評価 (4) 洋画視聴 (5分程度) <p>提出されたグループワーク、Readers' theater の録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater (朗読劇) などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます (評価40%)。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107668614を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning 40%(3 Step Call System 30%, PowerWords10%)を総合的に判断します。		

受講要件 (履修条件) /Requirements	教科書、英語辞典 (電子辞書可) を毎回持参、また毎回授業に出席すること (時間厳守)。 学習する (した) 内容は、きちんと予習、復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	各自テキスト付属のオンラインワークブック、CD-ROM 等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。 英語が話せる (使える) と世界 (チャンス) が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第 1回 4月11日	オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴 (2回目以降も継続的に視聴)
第 2回 4月18日	テキストOnline Workbookの初期設定、Relationships
第 3回 4月25日	Relationships Warm up
第 4回 5月2日	Relationships
第 5回 5月9日	Readers' theater , e-learning復習他
第 6回 5月16日	3 Step 小テスト1回目、Relationships
第 7回 5月23日	On Vacation Warm up (5/27 2年生Power Words 1回目締め切り)
第 8回 5月30日	On Vacation
第 9回 6月6日	On Vacation
第10回 6月13日	Readers' theater , On Vacation
第11回 6月20日	Music Warm up, e-learning復習他
第12回 6月27日	3 Step 小テスト2回目、Music
第13回 7月4日	Music
第14回 7月11日	Music, Review (7/15 2年生Power Words 2回目締め切り) (7/15 3 Step学習時間締切)
第15回 7月25日	Review
第16回 8月1日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013008	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英2)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2K2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後10分間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業到達目標 / Goal	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。 英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	様々な人々が書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文の overlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	語彙力、読解力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「Peace Talk」 (開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E-Learning [小テストを含む](40%) 予習小テスト(20%) 期末テスト(40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回宿題 (教科書の練習問題) を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation 教科書販売 / 授業の進め方 / 英語構成法		
第2回	予習小テスト Ch.1: September 11 (語彙・読解問題、音読)		
第3回	予習小テスト Ch.2: Beyond "September 11" (語彙・読解問題、音読)		
第4回	Review (ch.1,2)		
第5回	予習小テスト Ch.3: The Stone Walk (語彙・読解問題、音読)		

第6回	3-step 小テスト(1) ビデオ観賞 / ch.4
第7回	予習小テスト Ch.4: Students' Power in the Stone Walk (語彙・読解問題、音読)
第8回	Review (ch. 3,4)
第9回	予習小テスト Ch. 5:Japan and My Family
第10回	予習小テスト Ch.6: The Japan that I love (語彙・読解問題、音読)
第11回	予習小テスト Ch.7:Paper Sculpture (語彙・読解問題、音読) ビデオ鑑賞(Ch.7 関連ビデオ)
第12回	3 - Step小テスト(2) / ch. 8
第13回	予習小テスト Ch.8:The tour of the exhibition (語彙・読解問題、音読)
第14回	Ch.11: Prayer for Peace
第15回	授業のまとめと復習
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013009	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英3)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	環境科学部 (2K(英3))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gemenglish100@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は、授業中、授業の前後、若しくはEメールにて受けつけます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	スラッシュリーディングによって、速読とリスニングの向上が期待できます。また、英文法を押さえることで、速読理解を深め、要約の力をつけます。		
授業到達目標/Goal	スラッシュリーディングを身につける。 要約を的確にできる。 発音の改善と上達。 英文法の理解		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。 選択肢の問題においては、回答の際、選択の根拠も述べる必要があります。 リーディングの際、フォニックスを含めた発音指導を行います。		
授業内容/Class outline/Con	授業の前半は、テキスト前半のGrammar Sectionsを使用し、速読のための英文法を確認します。後半は、スラッシュリーディングを使用して、様々な分野の記事を読解します。最後に要約と確認問題に取り組みます。		
キーワード/Key word	スラッシュリーディング、速読、要約、英文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Dear Class (南雲堂) 初回授業日に販売しますので、購入のこと。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning:40% (3step CALL System 30%, Power Words 10%) 授業態度: 10% 定期試験: 50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	原則授業への全回出席		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への積極的な参加と予習を期待します。発表の機会が多いと考えてください。辞書は必携です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	授業内容・成績評価・遅刻と欠席の取り扱いについての説明 Unit 1名詞の表し方・A Jewel Under the Sea (授業の進め方の説明を含む) 1回目		
2回	Unit 1名詞の表し方・A Jewel Under the Sea 2回目		
3回	Unit 2 a とthe の基本 Working Robots		
4回	Unit 3 英文の骨格(1) Moomin House Café		
5回	Unit 4 英文の骨格(2) Idols, The Kindness of Strangers		
6回	3step 小テスト1回目 Unit 5 時を表す仕組み(1) Durian Recipe, Poison Gas		
7回	Power Words 1回目 Unit 6 時を表す仕組み(2) Yuzuru Biography, From Tragedy to Triumph		
8回	Unit 7 時を表す仕組み(3) A Short History of Harvard University, The Power of Ideas		
9回	Unit 8 時を表す仕組み(4) Humanitude		

10回	Unit 9 尋ねる文 Coffee, Caffeine
11回	Unit 10 ingが表すもの Mike Rowe Biography, Mike Rowe of Dirty Jobs Interview
12回	3step 小テスト2回目 Unit 11 受動態 New Measures to Reduce Cell Phone Use
13回	Power Words 2回目 Unit 12 仮想の世界を述べる(1) The Great Wall of China
14回	Unit 13 仮想の世界を述べる(2) Antarctica, What Lies below the Ice
15回	定期試験の範囲確認・復習 unit 5,6,11,12のリーディングセクションの残り
16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013010	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英1)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L(英1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後 (12:00 ~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講座は、単なるテキストに忠実な英文講読の演習のみを目的とするものではなく、テキストの英文を通して文化的差異に関する情報を収集し、文化にアプローチを試みながら、異文化理解の促進を第一義的な目的に据えるものである。市民レベルでの生活習慣、生活文化等の文化的差異を正しく認識し、日本人と英語圏の人々の思考過程・価値観・行動様式について、実相への理解を追究すると同時に、比較文化的視座から具体的例証に基づいてその論理の相違を実証的に解明、考察していくことが本講座の究極のテーマとなる。		
授業到達目標 / Goal	英文に対する速読力と直読直解力を養成する。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解する。 固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持つことの大切さを理解する。 国際人としての資質を養い、“地球村”の一員であるという概念を理解し、共存・共生を目指して異文化に適応するための方法や日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを学ぶ。 日本の伝統と文化を尊重する態度を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	異文化理解をテーマにしたリーディング素材の読解にアプローチを行っていくが、その際、Simultaneous Interpretation Method (同時通訳方式) やスラッシュ・リーディングという読解法を利用して英文を速く正確に読み取る能力の養成を目指しつつ、毎時これを実践する。このリーディング技術を修得すれば、英文を読むスピードが増し、短時間に必要な情報を読み取ることができるようになる。また、異文化に関して提示されたアジェンダに対する授業中の発表活動(積極的な発言や自発的な調査結果の発表)も求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
授業内容 / Class outline / Con	授業は、受講者の自発的な発表を重視した演習形式で進めていく。また、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまざれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード / Key word	速読、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Cultural Differences (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のE-Learning40%(3 Step CALL30%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>言語と文化は表裏一体と言われますが、言語を習得するためには、その言語を使用する人々の日常を反映する文化やコミュニケーション事情についても同時に学ぶことが大切です。本講座の受講を機に、英語国民とのコミュニケーション・ギャップや文化摩擦の根底にあるものを認識し、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを模索していただきたいと思います。諸国の違いは多々あれど、違いを知ることによって共存への道を探ることが今後一層求められていく時代になるものと思われまます。常に海外の事情にも注視する姿勢を保ち続けてください。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)</p>
<p>第2回</p>	<p>日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第3回</p>	<p>日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第4回</p>	<p>日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第5回</p>	<p>3step小テスト(1回目) 日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第6回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~</p>
<p>第7回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~</p>
<p>第8回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language()~</p>
<p>第9回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language()~</p>
<p>第10回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language()~</p>
<p>第11回</p>	<p>3step小テスト(2回目) 日米文化比較~Hamburger and Curry()~</p>
<p>第12回</p>	<p>日米文化比較~Hamburger and Curry()~</p>
<p>第13回</p>	<p>日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~</p>
<p>第14回</p>	<p>日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~ 日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~</p>
<p>第15回</p>	<p>日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~、まとめ</p>
<p>第16回</p>	<p>定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や提示したアジェンダに対する発表活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013011	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英2)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室 / Room 22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後10分間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業到達目標/Goal	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。 英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々な人々書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文の overlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	語彙力、読解力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E-Learning [小テストを含む](40%) 予習小テスト(20%) 期末テスト(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回宿題(教科書の練習問題)を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	Orientation 教科書販売 / 授業の進め方 / 英語構成法		
第2回	予習小テスト Ch.1: September 11 (語彙・読解問題、音読)		
第3回	予習小テスト Ch.2: Beyond "September 11" (語彙・読解問題、音読)		
第4回	Review (ch.1,2)		
第5回	(11/10) 3-Step小テスト(1) Review (Ch. 1~2) / ビデオ鑑賞(Ch. 1~4 関連)		

第6回	予習小テスト Ch.3: The Stone Walk (語彙・読解問題、音読) ビデオ観賞 / Ch.3
第7回	予習小テスト Ch.4: Students' Power in the Stone Walk (語彙・読解問題、音読)
第8回	Review (ch. 3,4)
第9回	予習小テスト Ch. 5:Japan and My Family
第10回	予習小テスト Ch.6: The Japan that I love (語彙、読解問題、音読)
第11回	(12/16) 3-Step小テスト(2) Review (Ch.5~6) / ビデオ鑑賞(Ch. 7 ~ 8 関連)
第12回	予習小テスト Ch.7:Paper Sculpture (語彙・読解問題、音読)
第13回	予習小テスト Ch.8:The tour of the exhibition (語彙・読解問題、音読)
第14回	Ch.11: Prayer for Peace
第15回	授業のまとめと復習
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013012	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英3)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館4F第41講義室 / Room 41		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1)「食」と「文学作品」との接点を見つけてテキストにまとめられた教材を用い、語彙、内容理解、文法、作文等のエクササイズを行う。(2)文学作品に触れ、英語によるレシビも学ぶ。		
授業到達目標/Goal	基礎的な文法や構文を復習するとともに国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。英米の有名な文学作品に触れ、興味を持つ。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式で食にまつわる文学作品を読み、練習問題を行うことで内容を理解し、また文法に関する練習問題を行う。		
授業内容/Class outline/Con	Reading, Vocabulary, Comprehension, Grammar, Writing, Quiz		
キーワード/Key word	食にまつわる文学作品を読み、食に関する語彙を知る。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	A taste of English: Food and Fiction (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%) e-learningの評価(1)語彙力養成のために、Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること 10%(2)総合的英語力養成のために、3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること30%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回予習をして授業に臨むこと、5回欠席(2回の遅刻で1欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に指示。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 1(Harry Potter and Chocolate Frogs)		
第3回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 2 (Peter Rabbit and Pie)		
第4回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 3 (Mrs. Rabbit and Herb Tea)		
第5回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 4 (Winnie-the-Pooh and Honey) 3step小テスト(1)		
第6回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 5 (Daddy-Long-Legs and Ice Cream)		
第7回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 6 (Kenji Miyazawa and Tomatoes)		
第8回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 7 (O. Henry and "Witches' Loaves)		
第9回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 8 (The Old Man and Fish)		
第10回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 9 (East of Eden and Lettuce)		
第11回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 10 (Laura and Cheese-Making on the Prairie) 3step小テスト(2)		

第12回	A Taste of English: Food and Fiction 11 (Breakfast and Tiffany's)
第13回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 12 ("Mujina" and "Soba")
第14回	A Taste of English: Food and Fiction Unit 13 (Bridget Jones and Dieting)
第15回	Review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013013	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英4)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育 (2L4)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL / Tel	095-813-5500		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 1、2時限目の間の休み時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	多様なトピックをカバーする英文テキストやその学習リソースを用いて、Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1レベルの英語運用能力のトレーニングをおこなう		
授業到達目標 / Goal	CEFR B1レベルの英語運用能力 (特に英文テキスト読解、リスニング力) の習熟をはかる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	Reading: 教材テキスト、プリント教材を用いた多読 (Shadowing含む) 指導 / Listening: 教材テキストのリスニングQuiz / Speaking: 英文テキストの音読 / Writing: B1レベルの語彙・文法演習を兼ねる		
授業内容 / Class outline / Con	教材テキスト、配布プリント (教材音声スクリプト等)、Online Workbookコンテンツを用いたクラス活動をおこなう。自律学習Online Workbookコンテンツの学習成果を、授業中に確認する		
キーワード / Key word	CEFR B1		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Chase, B. T. & Johannsen, K.L. (2112). Pathways 2. Boston: Heinle Cengage Learning.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	中間・期末試験 50%; Online Workbook 10%; 3Step CALL System 30%; Power Words 10%.		
受講要件 (履修条件) / Requirements	必ず第1回目のオリエンテーションに参加すること。自律学習教材 (3Step CALL System; PowerWords, eBookbook) を継続的に学習すること。Online Workbookの学習Logを提出すること。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保のため修妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) また「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	www.ngl.cengage.com/pathways		
学生へのメッセージ / Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典 (詳細、初回) が利用可。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
Oct 6	Orientation		
Oct 13	Staying healthy in the modern world		
Oct 20	演習 Online workbook 1		
Oct 27	Energy and our planet		
Nov 10	3Step CALL System 小テスト		
Nov 17	Culture and tradition		
Nov 24	中間レビュー (中間試験)、演習 Online workbook 2		
Dec 1	A thirsty world		

Dec 8	Inside the brain
Dec 15	What we eat
Dec 22	3Step CALL System 小テスト
Jan 5	Our active earth
Jan 12	Ancient peoples and places
Jan 19	Species survival
Jan 26	Entrepreneurs and new business
Feb 2	Final Test

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013014	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英5)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L(英5)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標 / Goal	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文をきちんと把握しながら、長文の読解力を強化する。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。精読と速読を組み合わせることで、英文の読解力の向上を図る。あらかじめ指定された担当者はテキストを首読し、和訳を発表する。最後に本文の要約とリスニングスクリプトを完成させる。		
授業内容 / Class outline / Con	毎回テキストに沿って、和訳とリスニングを中心に本文を読み進める。その後、想像力を働かせながら要約とリスニングスクリプトを完成させることで、英語として本文を把握する。受講者は前もってその箇所を予習しておく。		
キーワード / Key word	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への積極的な取り組み状況 (発表) 10%、 定期試験 50%、 課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について)		
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク		
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク		
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク		

第5回	3Step小テスト(1) Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	3Step小テスト(2) Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第15回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013015	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英6)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L6 習熟度別)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (Ext 335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、基礎的な読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行い、テキストと音声の調和のとれた処理能力の獲得によって、受講生の英語力を向上させる。 また、この授業ではプロの教師の心構えも身につけていただきたい。		
授業到達目標/Goal	TOEIC450程度の英語リスニング運用能力の獲得を目的とする。単語、文法理解のためのリスニング能力の獲得は、他の技能の熟達に寄与する。		
授業方法(学習指導法) / Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、英語の基本的なリスニング能力開発のための訓練形式。授業は難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: Power Up Your English with CNN News(朝日出版社) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	全て主教材より 定期試験40%(単語理解10%、内容理解30%) 平常点20%(発音実技振り返りレポートと副教材解答結果提出) 課外学習のe-learning 40%(3 Step CALL 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保するため修助げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TELL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	CDを聞いて、耳を慣らしておく程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10/6 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	10/13 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1		
第3回	10/20 副教材 Unit 3、主教材 教科書 前回のつづき		
第4回	10/27 副教材 Unit 4、主教材 教科書 前回のつづき		
第5回	11/10 副教材 Unit 5、主教材 教科書 前回のつづき 3 Step Call 小テスト1回目		
第6回	11/17 副教材 Unit 6、主教材 教科書 前回のつづき		
第7回	11/24 副教材 Unit 7、主教材 教科書 前回のつづき		
第8回	12/1 副教材 Unit 8、主教材 教科書 前回のつづき		

第9回	12/8 副教材 Unit 9、主教材 教科書 前回のつづき
第10回	12/15 副教材 Unit 11、主教材 教科書 前回のつづき
第11回	12/22 副教材 Unit 12、主教材 教科書 前回のつづき 3-Step CALL 小テスト
第12回	1/5 副教材 Unit 13、主教材 教科書 前回のつづき
第13回	1/12 副教材 Unit 14、主教材 教科書 前回のつづき
第14回	1/19 副教材 Unit 21、主教材 教科書 前回のつづき
第15回	1/26 副教材 Unit 24、主教材 教科書のまとめ
第16回	2/9 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013016	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英1)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済 (2E1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常動控入室		
担当教員TEL/Tel	095-813-5500		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 1, 2時限目休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	多様なトピックをカバーする英文テキストやその学習リソースを用いて、Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1レベルの英語運用能力のトレーニングをおこなう。		
授業到達目標/Goal	CEFR B1レベルの英語運用能力 (特に英文テキスト読解、リスニング力) の習熟をはかる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	Reading: 教材テキスト、プリント教材を用いた多読 (Shadowing含む) 指導 / Listening: 教材テキストのリスニングQuiz / Speaking: 英文テキストの音読 / Writing: B1レベルの語彙・文法演習を兼ねる。		
授業内容/Class outline/Con	教材テキスト、配布プリント (教材音声スクリプト等)、Unlock Onlineコンテンツを用いたクラス活動をおこなう。自律学習Unlock Onlineコンテンツの学習成果を、授業中に確認する。		
キーワード/Key word	CEFR B1		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Westbrook, C. (2014). Unlock Reading & writing skills 3. Cambridge: Cambridge University Press.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間・期末試験50%; Unlock Online 10%; 3Step CALL Systems 30%; PowerWords 10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	必ず第1回目のオリエンテーションに参加すること。自律学習教材 (3Step CALL System; PowerWords, Unlock Online) を継続的に学習すること。Unlock Onlineの学習Logを提出すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保のため修妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) また「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	www.cambridge.org/unlock		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典 (詳細、初回) が利用可能。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
Apr 8	Orientation		
Apr 15	Animals		
Apr 22	演習Unlock ebook		
May 6	Customs and traditions		
May 13	History		
May 20	3Step CALL System 小テスト		
May 27	中間レビュー、Midterm Test		
Jun 3	Transport		

Jun 10	Environment
Jun 17	Health and fitness
Jun 24	Discovery and invention
Jul 1	3Step CALL System 小テスト
Jul 8	Fashion
Jul 15	Economics
Jul 22	The brain
Jul 29	Final Test

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013017	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英2)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2E(英2))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールあるいはLACSにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> (1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。 (2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。 (3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。 (4) その会話の和訳を英訳できる。 (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。 (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容のある程度理解することができる。 (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近い発音で音読できる。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦しいイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) LACSによる小テスト (2) テキストを使用した演習 (あるいは Readers' theater 活動 録音 評価、あるいは、配布物による学習) (3) 3分間 (フリーorトピック) トーク 録音 評価 (4) 洋画視聴 (5分程度) <p>提出されたグループワーク、Readers' theater の録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater (朗読劇) などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます (評価40%)。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107668614を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning 40%(3 Step Call System 30%, PowerWords10%)を総合的に判断します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	教科書、英語辞典 (電子辞書可) を毎回持参、また毎回授業に出席すること (時間厳守)。学習する内容は、きちんと予習、復習すること!		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	各自テキスト付属のオンラインワークブック、CD-ROM 等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。 英語が話せる（使える）と世界（チャンス）が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1回 4月8日	オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第 2回 4月15日	テキストOnline Workbookの初期設定、Relationships
第 3回 4月22日	Relationships Warm up
第 4回 5月6日	Relationships
第 5回 5月13日	Readers' theater , e-learning復習他
第 6回 5月20日	3 Step 小テスト1回目、Relationships (5/27 2年生Power Words 1回目締め切り)
第 7回 5月27日	On Vacation Warm up
第 8回 6月3日	On Vacation
第 9回 6月10日	On Vacation
第10回 6月17日	Readers' theater , On Vacation
第11回 6月24日	Music Warm up, e-learning復習他
第12回 7月1日	3 Step 小テスト2回目、Music
第13回 7月8日	Music
第14回 7月15日	Music , Review (7/15 2年生Power Words 2回目締め切り) (7/15 3 Step学習時間締切)
第15回 7月22日	Review
第16回 7月29日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013018	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英3)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	人間の資質やビジネスに関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来ビジネスマンを目指すことはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Goal	人間の優れた資質について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	予習を充分に行ってきた上で、英文の内容についての意見を発表する。英文を精読し、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導を行いながら、語彙と文法事項の定着を図り、また、リスニングの能力を養う。テキストのテーマについて、意見を述べ、或いは討論し、自らの考えを深める。テーマについては、様々な資料等を用いて紹介する。世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業内容/Class outline/Con	教材の内容は、読みやすく興味深いものである。毎回、十分な予習を前提とした上で、テーマについての考察を行う。 テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文理解の方法や技術を指導する。本文の内容理解をチェックするための設問を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をする。 あらかじめ英文を熟読し、音声を聴き、入念な準備をして臨んでください。 また、経済学部で学ぶにあたり、書物を多く読み、人格を高め深い教養を身に付けておきましょう。 今回のテーマが、自らの成長と将来の仕事や人生に必ずや役立つことと思います。		
キーワード/Key word	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / ビジネス / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	The Secret of Success 『プラス思考で生きる：成功の秘訣』 (小林純子：朝日出版社) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。 音声教材は、ホームページサイトよりダウンロードしてください。 http://text.asahipress.com/free/english		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 8日	導入・授業内容の説明
第2回 4月15日	Unit 1
第3回 4月22日	Unit 2
第4回 5月 6日	Unit 3
第5回 5月13日	Unit 4
第6回 5月20日	Unit 4・5 3 Step 小テスト 第1回目
第7回 5月27日	Unit 6
第8回 6月 3日	Unit 7
第9回 6月10日	Unit 8
第10回 6月17日	Unit 10
第11回 6月24日	Unit 11
第12回 7月 1日	Unit 12・13 3 Step 小テスト 第2回目
第13回 7月 8日	Unit 12
第14回 7月15日	Unit 14
第15回 7月22日	Unit 15
第16回 7月29日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013019	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英4)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代 / Mituno Momoyo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2E4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜 2 限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、英語的な思考・表現の理解を深め、読む、書く、聞く、話すというコミュニケーション技能を統合して高めることに重点をおきます。		
授業到達目標 / Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信をもつことを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じてニュース等の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います。		
授業内容 / Class outline / Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観し、英語の表現形式を確認しながら授業を進めます。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード / Key word	コミュニケーションスキルの向上、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Critical thinking: language skills for clear communication 朝日出版社 1700円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E - Learning (40%: 3step 30% and Power Words 10%)、授業活動・課題への積極的参加 (20%)、期末試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意して下さい。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席して下さい。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1 (8 April)	Introduction		
2 (15 April)	Unit 1		
3 (22 April)	Unit 1		
4 (6 May)	Unit 2		
5 (13 May)	Unit 2		
6 (20 May)	Unit 3 3 step short test		
7 (27 May)	Unit 3		
8 (3 June)	Unit 4		

9 (10 June)	Unit 4
10 (17 June)	Unit 5
11 (24 June)	Unit 5
12 (1 July)	Unit 5 3 step short test
13 (8 July)	Unit 6
14 (15 July)	Unit 6
15 (22 July)	Review
16 (29 July)	Final exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013020	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英5)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	人間の資質やビジネスに関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来ビジネスマンを目指すことはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Goal	人間の優れた資質について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	予習を充分に行ってきた上で、英文の内容についての意見を発表する。英文を精読し、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導を行いながら、語彙と文法事項の定着を図り、また、リスニングの能力を養う。テキストのテーマについて、意見を述べ、或いは討論し、自らの考えを深める。テーマについては、様々な資料等を用いて紹介する。世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業内容/Class outline/Con	教材の内容は、読みやすく興味深いものである。毎回、十分な予習を前提とした上で、テーマについての考察を行う。 テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文理解の方法や技術を指導する。本文の内容理解をチェックするための設問を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をする。 あらかじめ英文を熟読し、音声を聴き、入念な準備をして臨んでください。 また、経済学部で学ぶにあたり、書物を多く読み、人格を高め深い教養を身に付けておきましょう。 今回のテーマが、自らの成長と将来の仕事や人生に必ずや役立つことと思います。		
キーワード/Key word	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / ビジネス / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	The Secret of Success 『プラス思考で生きる：成功の秘訣』 (小林純子：朝日出版社) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。 音声教材は、ホームページサイトよりダウンロードしてください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 8日	導入・授業内容の説明
第2回 4月15日	Unit 1
第3回 4月22日	Unit 2
第4回 5月 6日	Unit 3
第5回 5月13日	Unit 4
第6回 5月20日	Unit 4・5 3 Step 小テスト 第1回目
第7回 5月27日	Unit 6
第8回 6月 3日	Unit 7
第9回 6月10日	Unit 8
第10回 6月17日	Unit 10
第11回 6月24日	Unit 11
第12回 7月 1日	Unit 12・13 3 Step 小テスト 第2回目
第13回 7月 8日	Unit 12
第14回 7月15日	Unit 14
第15回 7月22日	Unit 15
第16回 7月29日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013021	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英6)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2E(英6))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールあるいはLACSにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> (1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。 (2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。 (3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。 (4) その会話の和訳を英訳できる。 (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。 (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容のある程度理解することができる。 (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近い発音で音読できる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦しいイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) LACSによる小テスト (2) テキストを使用した演習 (あるいは Readers' theater 活動 録音 評価、あるいは、配布物による学習) (3) 3分間 (フリーorトピック) トーク 録音 評価 (4) 洋画視聴 (5分程度) <p>提出されたグループワーク、Readers' theater の録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater (朗読劇) などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107668614を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning 40%(3 Step Call System 30%, PowerWords10%)を総合的に判断します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	教科書、英語辞典 (電子辞書可) を毎回持参、また毎回授業に出席すること (時間厳守)。学習する内容は、きちんと予習、復習すること!		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	各自テキスト付属のオンラインワークブック、CD-ROM 等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。 英語が話せる（使える）と世界（チャンス）が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1回 4月8日	オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第 2回 4月15日	テキストOnline Workbookの初期設定、Relationships
第 3回 4月22日	Relationships Warm up
第 4回 5月6日	Relationships
第 5回 5月13日	Readers' theater , e-learning復習他
第 6回 5月20日	3 Step 小テスト1回目、Relationships (5/27 2年生Power Words 1回目締め切り)
第 7回 5月27日	On Vacation Warm up
第 8回 6月3日	On Vacation
第 9回 6月10日	On Vacation
第10回 6月17日	Readers' theater , On Vacation
第11回 6月24日	Music Warm up, e-learning復習他
第12回 7月1日	3 Step 小テスト2回目、Music
第13回 7月8日	Music
第14回 7月15日	Music , Review (7/15 2年生Power Words 2回目締め切り) (7/15 3 Step学習時間締切)
第15回 7月22日	Review
第16回 7月29日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013022	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英1)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後10分間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業到達目標 / Goal	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。 英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	様々な人々を書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文の overlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	語彙力、読解力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E-Learning [小テストを含む](40%) 予習小テスト(20%) 期末テスト(40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回宿題 (教科書の練習問題) を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation 教科書販売 / 授業の進め方 / 英語構成法		
第2回	予習小テスト Ch.1: September 11 (語彙・読解問題、音読)		
第3回	予習小テスト Ch.2: Beyond "September 11" (語彙・読解問題、音読)		
第4回	Review (ch.1,2)		
第5回	予習小テスト Ch.3: The Stone Walk (語彙・読解問題、音読)		

第6回	3-step 小テスト(1) ビデオ観賞 / ch.4
第7回	予習小テスト Ch.4: Students' Power in the Stone Walk (語彙・読解問題、音読)
第8回	Review (ch. 3,4)
第9回	予習小テスト Ch. 5:Japan and My Family
第10回	予習小テスト Ch.6: The Japan that I love (語彙・読解問題、音読)
第11回	予習小テスト Ch.7:Paper Sculpture (語彙・読解問題、音読) ビデオ鑑賞 (Ch.7 関連ビデオ)
第12回	3 - Step小テスト(2) / ch. 8
第13回	予習小テスト Ch.8:The tour of the exhibition (語彙・読解問題、音読)
第14回	Ch.11: Prayer for Peace
第15回	授業のまとめと復習
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013023	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英2)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部 (2T(英2))		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	gemenglish100@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問は、授業中、授業の前後、若しくはEメールにて受けつけます。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	スラッシュリーディングによって、速読とリスニングの向上が期待できます。リスニング、速読理解、要約を演習を通して学習します。		
授業到達目標 / Goal	スラッシュリーディングを身につける。 要約を的確にできる。 発音の改善と上達。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。 選択肢の問題においては、回答の際、選択の根拠も述べる必要があります。 リーディングの際、フォニックスを含めた発音指導を行います。		
授業内容 / Class outline / Con	簡単なアクティビティシートを使用したウォームアップで授業を始めます。メイン記事の関連用語をリスニングのタスクを通して学習した後、スラッシュリーディングによってメイン記事を読解していきます。最後に要約と内容把握確認を行います。		
キーワード / Key word	スラッシュリーディング、速読、要約、リスニング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Social View (三修社) 初回授業日に販売しますので、購入のこと。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	e-learning:40% (3step CALL System 30%, Power Words 10%) 授業態度:10% 定期試験:50%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則授業への全回出席		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業への積極的な参加と予習を期待します。発表の機会が多いと考えてください。辞書は必携です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	授業内容・成績評価・遅刻と欠席の取り扱いについての説明 Chapter 1 ロボット従業員参上 (授業の進め方の説明を含む)		
2回	Chapter 2 「リアリティ」ツアーに見る日本社会		
3回	Chapter 3 メトロアプリ・コンテスト		
4回	Chapter 4 霊峰富士が汚されている		
5回	Chapter 5 パソコン時代の子供用百科事典		
6回	3step 小テスト1回目 Chapter 6 木造ビルが多彩に変化		
7回	Power Words 1回目 Chapter 7 今こそ、正しい箸の作法を		
8回	Chapter 8 昭和が懐かしい大人たち		
9回	Chapter 9 世界を狙うメイドインジャパン		
10回	Chapter 10 花の銀座にルーフトップ・ガーデンがある		

11回	Chapter 11 ここにもある動物虐待
12回	3step 小テスト2回目 Chapter 12 おもてなしのパワフル・ツール
13回	Power Words 2回目 Chapter 13 電子マネーのサービス合戦激化
14回	Chapter 14 メイクアップでQOLアップ
15回	定期試験の範囲確認・復習 Chapter 15 園児の声がうるさくて
16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013024	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英3)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2T3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業を通して、英語を発信型言語のツールとして活用していく機会とする。		
授業到達目標/Goal	平易な英語を用いて自己紹介ができ、またある程度まとまった内容の英文を平易な英語で要約が素早く簡潔に行えるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、前半をTOEIC/TOEFL/IEALTSタイプの問題に準じたテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いて日本語・英語双方による要約を行う。また、数分程度で英語で自己紹介ができるよう、クラスの前で発表する訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	expressing yourself in English, summary writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業時の予習チェック(20%), E-learning教材(40%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, Sample Listening Test		
第2回	Listening 1, テキストUnit 3 (Fill-in-the-blanks summary)		
第3回	Listening 2, テキストUnit 5 (Questions&Answers in Japanese)		
第4回	Listening 3, テキストUnit 8(Fill-in-the-blanks summary)		
第5回	Listening 4, テキストUnit 11(Fill-in-the-blanks summary)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit 15(Fill-in-the-blanks summary)		
第7回	DVD教材(1), Dictation		
第8回	DVD教材(2), Dictation		
第9回	Listening 5, Email writing (1)		
第10回	Listening 6, Email Witing (2)		
第11回	Listening 7, Email writing (3)		
第12回	3Step小テスト(2), Email writing (4)		
第13回	Listening 8, Email writing (5)		

第14回	Listening 9, まとめ(1)
第15回	まとめ(2)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013025	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英4)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールあるいはLACSにて質問を受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> (1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。 (2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。 (3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。 (4) その会話の和訳を英訳できる。 (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。 (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容のある程度理解することができる。 (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近い発音で音読できる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦しいイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) LACSによる小テスト (2) テキストを使用した演習 (あるいは Readers' theater 活動 録音 評価、あるいは、配布物による学習) (3) 3分間 (フリーorトピック) トーク 録音 評価 (4) 洋画視聴 (5分程度) <p>提出されたグループワーク、Readers' theater の録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater (朗読劇) などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107668614を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning 40%(3 Step Call System 30%, PowerWords10%)を総合的に判断します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	教科書、英語辞典 (電子辞書可) を毎回持参、また毎回授業に出席すること (時間厳守)。学習する内容は、きちんと予習、復習すること!		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	各自テキスト付属のオンラインワークブック、CD-ROM 等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。 英語が話せる(使える)と世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1回 4月11日	オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第 2回 4月18日	テキストOnline Workbookの初期設定、Relationships
第 3回 4月25日	Relationships Warm up
第 4回 5月2日	Relationships
第 5回 5月9日	Readers' theater , e-learning復習他
第 6回 5月16日	3 Step 小テスト1回目、Relationships
第 7回 5月23日	On Vacation Warm up (5/27 2年生Power Words 1回目締め切り)
第 8回 5月30日	On Vacation
第 9回 6月6日	On Vacation
第10回 6月13日	Readers' theater
第11回 6月20日	Music Warm up, e-learning復習他
第12回 6月27日	3 Step 小テスト2回目、Music
第13回 7月4日	Music
第14回 7月11日	Music, Review (7/15 2年生Power Words 2回目締め切り) (7/15 3 Step学習時間締切)
第15回 7月25日	Review
第16回 8月1日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013026	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英5)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界中から発信された、最新の環境などに関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界情勢に対する関心をさらに高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、書く・話すための英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業到達目標/Goal	世界の出来事や環境問題に対して関心を持ち、考えを深めることができる。書いたり話すための表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養い、さらに向上させる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基礎を養成し、確かなものにする。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業方法(学習指導法)/Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所がないように書き込んでいく。)また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。英文は英字新聞から選ばれていて、内容も興味深く、また、フレーズ・リーディングを行うことで、たいへん特色がある教科書を使用します。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行うようにしましょう。自ら学習することが非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング・リスニング・英字新聞・世界情勢・環境・健康・英作文・英文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Messages to the Future (小笠原真司: 金星堂) / 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60%、課外学習のE-learning40%(3Step30%、Power Words10%)を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席することを期待します。毎回必ず予習をしてCDを聴いてから臨みましょう。発声を伴う学習の際は、積極的に参加してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意をつかんでおきます。目標を定めて、たゆまぬ努力をしましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月11日	導入・授業内容の説明
第2回 4月18日	Unit 1
第3回 4月25日	Unit 2
第4回 5月 2日	Unit 3
第5回 5月 9日	Unit 4
第6回 5月16日	Unit 5
第7回 5月23日	Unit 6 3 Step Call System 小テスト 第1回目
第8回 5月30日	Unit 7
第9回 6月 6日	Unit 8
第10回 6月13日	Unit 9
第11回 6月20日	Unit 11 Unitの順番に変更がありますので、注意しましょう。
第12回 6月27日	Unit 10 Unitの順番に変更がありますので、注意しましょう。 3 Step Call System 小テスト 第2回目
第13回 7月 4日	Unit 12
第14回 7月11日	Unit 13
第15回 7月25日	Unit 14
第16回 8月 1日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013027	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英6)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式		
授業内容 / Class outline / Con	<p>各ユニット400~600語程度の20ユニットから成る Life Topics: Deeper Connections をテキストに用い、世界中の興味深い話題について読む。前半は毎回1ユニット、後半はスピードを上げ毎回2ユニットを目標に読む。15回の授業の初めの4回は精読を中心に、最後の5回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせて使えるように演習を行う。</p> <p>授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回指定する。その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の首を確かめるだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。</p>		
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Life Topics: Deeper Connections, Takashi Shimaoka&Jonathan Berman, NAN'UN-DO, CD付, ¥2268		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>課外学習のe-learning 40% (3 Step-CALL 30%、Power Words 10%)、定期試験45%、小テスト約10%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約5%。</p> <p>課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシス広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシス広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	インTRODククション、 Unit 1 Self-Introduction
第2回	Unit 2 The Island of Nauru
第3回	Unit 3 Passion
第4回	Unit 4 Impact of Good Teachers
第5回	Unit 5 Humor and Laughter
第6回	第1回3step小テスト(15分程度) Unit 6 Dating
第7回	Unit 7 Nutrition and Exercise
第8回	Unit 8 The Different Layers of the Brain
第9回	Unit 9 Technology Addiction
第10回	Unit 10 Mirror Neurons Unit 11 The Science of Happiness
第11回	第2回3step小テスト(15分程度) Unit 12 Sugar Addiction
第12回	Unit 13 The Evolution of Marriage Unit 14 Active Listening
第13回	Unit 15 Male and Female Brains Unit 16 Nostalgia
第14回	Unit 17 Cigarette Advertising Unit 18 Right Brain - Left Brain
第15回	Unit 19 Mama's Boys Unit 20 Winning Friends and Influencing People
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013028	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英7)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T(英7)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	sayaka.university@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 (メールにより受付)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	授業時にアクティビティを行うことにより、主に発信力の養成を行う。一方で、発信力を高めるために必要な他の技能等を養う。		
授業到達目標 / Goal	英語を使うトレーニングを通し、今後の研究や社会で英語を使える力を養う。		
授業方法 (学習指導法) / Method	主にペア・グループワーク		
授業内容 / Class outline / Con	Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やす。アクティブラーニングを通し他の生徒と協力し英語を実践レベルで使う。Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行う。Speaking を通し間違いを恐れずに発話する力を養う。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English Central, News in levels (その他インターネット記事)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト (10回実施) 10% プレゼンテーショングループ評価 20% 定期試験 30% 3 Step Call System 30% Power Words 10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	本授業は今まで学んできた英語を実際に使うことを目的とします。これからの学習、及び社会において英語がどのように関わってくるか意識しながら英語を使う練習をしましょう。何かを受動的に学ぶというよりも積極的に自らの意見を述べ、全生徒が活発的に授業に参加してください。会話練習においては、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じてくれたらと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション / Group activity		
第2回	小テスト / Reading activity / Group activity		
第3回	小テスト / Listening activity / Group activity		
第4回	小テスト / Reading activity / Group activity		
第5回	小テスト / Listening activity / Group activity		
第6回	3 Step 小テスト1回目 / Group activity		
第7回	小テスト / Group activity < プレゼンリハーサル及び最終確認 >		
第8回	第1回 プレゼン「自由課題 (工学に関するテーマ)」		
第9回	小テスト / Speaking practice / Group activity		
第10回	小テスト / Speaking practice / Group activity		
第11回	3 Step 小テスト2回目 / Group activity		

第12回	小テスト / Speaking practice / Group activity
第13回	小テスト / Speaking practice / Group activity
第14回	小テスト / Group activity <プレゼンリハーサル及び最終確認>
第15回	第2回 プレゼン「自由課題(工学に関するテーマ)」
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013029	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英8)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部 (2T(英8))		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	Reading skill の向上に重点的に取り組む。語彙・文法事項・文章構成のレトリック等に留意しつつ、Reading strategyに沿って速読力のアップ、さらには内容を十分に理解する精読も行う。また、時事英語を学びながら、語彙力の養成及び社会事象への関心を高めることを促す。		
授業到達目標 / Goal	(1) TOEIC 400 ~ 450 のレベルの英文を難なく読みこなす。 (2) 正確な内容理解のために、これまでに学習した基本文法を適用できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	テキストの内容及び設問に関して、ペアワークも含み進めていく。毎時間、読解・設問に関するワークシートを完成し、提出する。		
授業内容 / Class outline / Con	(1) English newsの記事を読み取り、key sentencesを暗唱。 (2) 語彙力・表現力の養成。 (3) テキストの読解		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Advantage 3 (Third Edition) (出版社: CENGAGE Learning)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E-Learning 40%、課題・小テスト・授業参加度 20%、期末試験 40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	Active Participation in class is highly evaluated. Don't hesitate to speak up and ask questions.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	Course Outline (導入): 教材配布		
2回	Unit 1 Spiders Reading Passage		
3回	Unit 1 Spiders Reading Comprehension, Idioms, and Vocabulary Reinforcement		
4回	Unit 2 The Sphinx Reading Passage		
5回	Unit 2 The Sphinx Reading Comprehension, Idioms, and Vocabulary Reinforcement		
6回	3 Step Call System 小テスト Unit 6 Left-Handedness Reading Passage		
7回	Unit 6 Left-Handedness Reading Passage		
8回	Unit 6 Left-Handedness Reading Comprehension, Idioms, and Vocabulary Reinforcement		
9回	Unit 8 Body Language Reading Passage		
10回	Unit 8 Body Language Reading Comprehension, Idioms, and Vocabulary Reinforcement		
11回	3 Step Call System 小テスト Unit 9 Cosmetic Surgery Reading Passage		

12回	Unit 9 Cosmetic Surgery Reading Passage
13回	Unit 9 Cosmetic Surgery Reading Comprehension, Idioms, and Vocabulary Reinforcement
14回	Unit 10 Natural Wonders Reading Passage
15回	Unit 10 Natural Wonders Reading Comprehension, Idioms, and Vocabulary Reinforcement
16回	The Final Exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013030	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英9)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、及び16:10 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講座は、単なるテキストに忠実な英文講読の演習のみを目的とするものではなく、テキストの英文を通して文化的差異に関する情報を収集し、文化にアプローチを試みながら、異文化理解の促進を第一義的な目的に据えるものである。市民レベルでの生活習慣、生活文化等の文化的差異を正しく認識し、日本人と英語圏の人々の思考過程・価値観・行動様式について、実相への理解を追究すると同時に、比較文化的視座から具体的例証に基づいてその論理の相違を実証的に解明、考察していくことが本講座の究極のテーマとなる。		
授業到達目標/Goal	英文に対する速読力と直読直解力を養成する。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解する。 固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持つことの大切さを理解する。 国際人としての資質を養い、“地球村”の一員であるという概念を理解し、共存・共生を目指して異文化に適応するための方法や日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを学ぶ。 日本の伝統と文化を尊重する態度を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	異文化理解をテーマにしたリーディング素材の読解にアプローチを行っていくが、その際、Simultaneous Interpretation Method (同時通訳方式) やスラッシュ・リーディングという読解法を利用して英文を速く正確に読み取る能力の養成を目指しつつ、毎時これを実践する。このリーディング技術を修得すれば、英文を読むスピードが増し、短時間に必要な情報を読み取ることができるようになる。また、異文化に関して提示されたアジェンダに対する授業中の発表活動(積極的な発言や自発的な調査結果の発表)も求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
授業内容/Class outline/Con	授業は、受講者の自発的な発表を重視した演習形式で進めていく。また、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまざれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	速読、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Cultural Differences (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のE-Learning40%(3 Step CALL30%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>言語と文化は表裏一体と言われますが、言語を習得するためには、その言語を使用する人々の日常を反映する文化やコミュニケーション事情についても同時に学ぶことが大切です。本講座の受講を機に、英語国民とのコミュニケーション・ギャップや文化摩擦の根底にあるものを認識し、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを模索していただきたいと思います。諸国の違いは多々あれど、違いを知ることによって共存への道を探ることが今後一層求められていく時代になるものと思われます。常に海外の事情にも注視する姿勢を保ち続けてください。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)</p>
<p>第2回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions () ~</p>
<p>第3回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions () ~</p>
<p>第4回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language () ~</p>
<p>第5回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language () ~</p>
<p>第6回</p>	<p>3step小テスト(1回目) 日米文化比較~Differences in Body Language () ~</p>
<p>第7回</p>	<p>日米文化比較~Hamburger and Curry () ~</p>
<p>第8回</p>	<p>日米文化比較~Hamburger and Curry () ~</p>
<p>第9回</p>	<p>日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from? () ~</p>
<p>第10回</p>	<p>日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from? () ~</p>
<p>第11回</p>	<p>3step小テスト(2回目) 日米文化比較~Mayumi's Ideal Man () ~</p>
<p>第12回</p>	<p>日米文化比較~Mayumi's Ideal Man () ~</p>
<p>第13回</p>	<p>日米文化比較~Culture Shock () ~</p>
<p>第14回</p>	<p>日米文化比較~Culture Shock () ~</p>
<p>第15回</p>	<p>日米文化比較~Culture Shock () ~、まとめ</p>
<p>第16回</p>	<p>定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や提示したアジェンダに対する発表活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013031	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英10)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部(2T(英10))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
授業方法(学習指導法)/Method	オーセンティックな教材をベースに、センテンスディクテーションや音楽を利用した発音練習などのタスクを組み合わせ、授業が行われる。受講者が自己のリスニング力とリーディング力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための学習方法を学べるようになってきている。なお、学習状況等(基礎学力、理解度、進度)を勘案して、シラバスの内容を変更したり、また、メニューを追加することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 40%・課題25%・期末試験35%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題25%・期末試験35%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いですが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート		
2回	多聴読プログラム1(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音		
3回	多聴読プログラム2(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別		
4回	多聴読プログラム3(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音		
5回	多聴読プログラム4(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別		
6回	3STEP小テスト(第1回) 第1回~第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換		
7回	多聴読プログラム5(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1		

8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	3STEP小テスト(第2回) 多聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	多聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回～第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013032	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2D1・2D2) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1 / 2D2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL / Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日12:50 ~ 13:30 他は, only by appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語や歯学部に関係がある題材にふれる。		
授業到達目標 / Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、^アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容 / Class outline / Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード / Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(40%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepは、2回のテストでもって評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月3日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	10月17日 第2回 速読(phrase reading)と^アワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	10月24日 第3回 速読(phrase reading)と^アワーク(2), Laughing will save you from going crazy.		
第4回	10月31日 第4回 速読(phrase reading)と^アワーク(3), The French Paradox Gum Disease and related problems (1)		
第5回	11月7日 3STEP小テスト1回目 第5回 速読(phrase reading)と^アワーク(4), Don't stay away from natto. Gum Disease and related problems (2)		

第6回	11月14日 第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign? What country is the fattest country? ABC News
第7回	11月21日 第7回 速読(phrase reading)とハアワーク(5), Turn-taking (2) 11/25 Power Words1回目 締め切り
第8回	11月28日 第8回 速読(phrase reading)とハアワーク(6), Getting a good night sleep is a challenge.
第9回	12月5日 第9回 速読(phrase reading)とハアワーク(7), Current Issues
第10回	12月12日 第10回 速読(phrase reading)とハアワーク(8), , Chocolate and its magical power.
第11回	12月19日 3STEP小テスト2回目 第11回 速読(phrase reading)とハアワーク(9), Processed Food. 1/ 20 Power Words 2 回目締め切り, 3STEP学習締め切り
第12回	12月26日 第12回 速読(phrase reading)とハアワーク(10), Environment Health Threats.
第13回	1月16日 第13回 速読(phrase reading)とハアワーク(11), , Genetically modified food IELTS Writing入門(1)
第14回	1月23日 IELTS Writing入門(2)
第15回	1月30日 まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013033	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英1)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	水産(2F1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel	095-813-5500		
担当教員オフィスアワー/Office hours	1, 2時限目休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	多様なトピックをカバーする英文テキストやその学習リソースを用いて、Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1レベルの英語運用能力のトレーニングをおこなう。		
授業到達目標/Goal	CEFR B1レベルの英語運用能力(特に英文テキスト読解、リスニング力)の習熟をはかる。		
授業方法(学習指導法)/Method	Reading:教材テキスト、プリント教材を用いた多読(Shadowing含む)指導 / Listening:教材テキストのリスニングQuiz / Speaking:英文テキストの音読 / Writing: B1レベルの語彙・文法演習を兼ねる。		
授業内容/Class outline/Con	教材テキスト、配布プリント(教材音声スクリプト等)、global eWorkbookコンテンツを用いたクラス活動をおこなう。自律学習eWorkbookコンテンツの学習成果を、授業中に確認する。		
キーワード/Key word	CEFR B1		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Clandfield, L. & Benne, R. R. (2011). Global Intermediate coursebook. Oxford: Macmillan Education		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間・期末試験50%; eWorkbook学習10%; 3step CALL System 30%; Power Words 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	必ず第1回目のオリエンテーションに参加すること。自律学習教材(3Step CALL System; PowerWords, eWorkbook)を継続的に学習すること。eWorkbookの学習Logを提出すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保するため修助けとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)また「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	www.macmillanenglish.com/global		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典(詳細、初回)が利用可能なこと		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
Apr 8	Orientation		
Apr 15	Language and culture: The Hobbit		
Apr 22	eWorkbook演習		
May 6	Lives and legends: White Teeth		
May 13	Hot and cold: Endless energy		
May 20	3Step CALL System 小テスト		
May 27	中間レビュー、Midterm Test		
Jun 3	Friends and strangers: A creative friendship		
Jun 10	Law and order: Asimov's laws of robotics		
Jun 17	Seen and heard: Now you see it ...		
Jun 24	Supply and demand: A good swap		
Jul 1	3Step CALL System 小テスト		
Jul 8	Lost and found: Life of Pi		
Jul 15	Love and hate: A short history of tractors in Ukrainian		

Jul 22	Beginnings and endings: Great opening lines
Jul 29	Final Test

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013034	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英2)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2F英2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 詳細は授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容/Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。Listeningにおいては、大学が提供している3stepやPowerWordsを日常の取り組みとします。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) 課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	課外学習のe-learningに関しては第一回目の講義の際に説明いたします。 初回の講義はシラバス、教科書等非常に重要な情報を提供いたします。特に再履修の受講生は、必ず受講するようにしてください。できない場合は正当な理由を証明できるようお願いしておきます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction		
第2回	Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)		
第3回	Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)		
第4回	Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)		

第5回	Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)
第6回	Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 5月20日 3step小テスト1回目
第7回	Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 5月27日 PowerWords1回目締切り
第8回	Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回	Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回	Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第12回	Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2) 7月1日 3step小テスト2回目
第13回	Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan
第14回	Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856 PowerWords2回目締切り・3step学習時間締切り
第15回	Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861- 1865
第16回	Final Examination

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013035	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英3)) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Object Student	2F(英3)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。		
授業到達目標 / Goal	TOEIC500点以上の英語力		
授業方法(学習指導法) / Method	テキストの英文を読みながら、ペアワークを中心に、さまざまな学習活動に取り組む。各ユニットの理解の仕上げとして、内容についての英問英答で読解のポイントをつかむ。英英辞典を利用した英単語クイズや、テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、別の映像コンテンツ視聴を適宜入れることで、実践的な聞き取り能力も鍛錬する。課外学習(3 Step CALLと Powerwords)も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業内容 / Class outline / Con	テキストはリーディングを中心とした学習活動をねらいとしたものを使用する。トピックはメイドカフェから音楽・医療など多彩な内容となっている。このテキストをベースに、基本的な文法の理解の確認や、英文の意味のかたまりのつかみかた、さらには音声言語としての英語への慣れなどを、毎回の授業で積み重ねる。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 『Reading in Action Basic』 金聖堂 参考書: Longman Dictionary of Contemporary English (英語クイズで主に使用)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(ディクテーションを含む)30%、中間テスト(ディクテーションを含む)15%、授業への参加度15%。課外学習のe-learning 40%(3 Step CALL 30%、Powerwords 10%)		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障害学生支援室)にご相談下さい。 (TEL) 095 -819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail: support@ml.nagasaki-u.ac.jp)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)		
第2回	Unit 1: Uniquely Japanese Hospitality		
第3回	Unit 2: "Time Machine" with a Flag on Top		
第4回	Unit 3: Start and Finish Work Earlier		
第5回	Unit 4: Humanoids in the Aging Society		
第6回	Unit 5: No Longer a Man's World 3Step 小テスト1回目		
第7回	Unit 6: What Will the 2020 Games Give Us?		
第8回	Unit 7: Your Name Is Not on the List		
第9回	中間テスト		

第10回	Unit 8: When Quakes Hit, Eruptions May Follow
第11回	Unit 9: As Young as 70 Years Old
第12回	Unit 10: The Music Industry Needs to Change 3Step 小テスト2回目
第13回	Unit 11: Don't Kill Lions to Prove Manhood
第14回	Unit 12: How About a Nose Job in Malaysia?
第15回	Unit 13: Bats Carry Ebola but Don't Get It
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013036	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2G1 ~ 2G3) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化社会学部(2G)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shintanigawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語4技能をノート・テイキング、ディスカッション、プレゼンテーション等の学術的場面で活用する訓練を行い、英語での講義に適應できるような総合的な英語力を養成する。特に、海外留学にとって有用となる実践的な英語力の養成を目的とする。実際の英語の講義で用いられる語彙や表現を用いて、情報を効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを自分自身の発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練を行う。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・英語のノート・テイキング、ディスカッション、プレゼンテーション等の技法を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。 		
授業方法(学習指導法) / Method	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストを実施する。 ・指定のテキスト及び配布するプリントを用いて、英語4技能について、総合的な学習を行う。 ・授業の最後では、作文の作成やペア・グループでの発表を行う。 		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: Lecture Ready Second Edition 3 著者: Laurie Frazier & Shalle Leeming 出版社: Oxford University Press ISBN: 9780194417297 価格: 2,800円(税別)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	e-learning: 40% 小テスト・課題: 25% 中間・期末テスト: 25% 発表: 10%		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	4月7日 オリエンテーション & 準備学習		
2回	4月14日 Chapter 1: New Trends in Marketing Research		
3回	4月21日 Chapter 2: Business Ethics		

4回	4月28日 Chapter 3: Trends in Media Use
5回	5月12日 Chapter 4: The Changing Music Industry
6回	5月19日 3-STEP 小テスト (1) & プリント教材
7回	5月26日 Chapter 5: The Placebo Effect
8回	6月2日 中間テスト & 発表
9回	6月9日 Chapter 6: Intelligent Machines
10回	6月16日 Chapter 7: Sibling Relationships
11回	6月23日 Chapter 8: Multiple Intelligences
12回	6月30日 3-STEP 小テスト (2) & プリント教材
13回	7月7日 Chapter 9: The Art of Graffiti
14回	7月14日 Chapter 10: Design Basics
15回	7月21日 復習 & 発表
16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013037	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2P1) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2P1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日昼休み または、muraoka@n-junshin.ac.jp にて随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標 / Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容 / Class outline / Con	視聴覚教材を用いながら、ストーリーの内容を把握し、スクリプトの文法や英語表現に習熟する。		
キーワード / Key word	Comprehensive English		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Good Will Hunting (SHOHAKUSHA)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト: 10% プレゼンテーション: 10% 定期試験: 40% 課外学習の e-learning: 40% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するために、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先: TEL: 095-819-2006 FAX: 095-819-2948 E-MAIL: support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回、授業のはじめに単語クイズをしますので、テキストの該当箇所を予習して臨んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月6日: イントロダクション		
第2回	10月13日: 第1章		
第3回	10月20日: 第2章		
第4回	10月27日: 第3章		
第5回	11月10日: 第4章 / 3-step 小テスト		
第6回	11月17日: 第5章		
第7回	11月24日: 第6章		
第8回	12月1日: 第7章		
第9回	12月8日: 第8章		
第10回	12月15日: 第9章		
第11回	12月22日: 第10章 / 3-step 小テスト		
第12回	1月5日: 第11章		

第13回	1月12日：第12章
第14回	1月19日：プレゼンテーション準備
第15回	1月26日：プレゼンテーション
第16回	2月2日：定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590013038	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2P2) / Comprehensive English III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜 2 限 (事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の論説やニュースを、要約して発表する。 課題について英語で論述する。 課題について英語で論じ、プレゼンテーションする。		
授業到達目標 / Goal	英語の論説やニュース記事を、簡潔に要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。 課題について、英語でプレゼンテーションする能力を身に付ける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	配布資料の英文の要約とニュースの聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行う。 英文要約課題、英文課題作文の提出を求める。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	指定する e-learning 教材 40% 授業中の課題 20%、 期末テスト 40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文要約教材(1)		
第3回	英文要約教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	3-STEP小テスト 1回目 英文要約課題(1)		
第6回	英文要約課題(2)		
第7回	Listening Comprehension Quiz (第2回)		
第8回	英文課題作文(1)		

第9回	英文課題作文(2)
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回) TBA
第11回	3 - STEP小テスト 2回目 英文交渉メールの基礎と練習
第12回	英語課題作文(3)
第13回	英語プレゼンテーションの基礎
第14回	英語プレゼンテーション(1)
第15回	英語プレゼンテーション(2)
第16回	期末試験